

ひと。しごと。くらし。

ずっと先の未来につなごう



広島県の中山間地域は、県土の約7割を占め、豊かな自然環境に恵まれた中国山地や瀬戸内海を背景に、四季を通じて楽しめるアクティビティや歴史を感じさせる街並み、個性豊かで多様な文化など、里山ならではの多岐にわたる暮らしの資産を有しています。

こうした中山間地域の価値や豊かさを、将来にわたってかけがえのない資産として大切に引き継いでいくため、県では、平成26年に「広島県中山間地域振興計画」を策定し、中山間地域に暮らす方々の「笑顔で幸せな生活」を念頭に、活性化の原動力となる「人づくり」や生活の糧を得るための「仕事づくり」、安心な暮らしを支える「生活環境づくり」を柱に施策を総合的かつ計画的に推進してきました。

これまでの取組を通じて、若い世代を中心に、地域に変化を生み出そうとする《人の輪》は大きな広がりを見せ、活性化につながる新たな芽は着実に育ちつつあります。

しかしながら一方で、地域を取り巻く環境は、人口減少や高齢化がなお著しく、その傾向は今後も更に加速することが見込まれるなど、厳しい状況に直面しています。

こうした中、現計画は令和2年度で終期を迎えます。先行き不透明で変化の激しい時代がありますが、一方ではデジタル化の進展や新型コロナウイルス危機を契機としたライフスタイルの変化など、今後の中山間地域の可能性を広げる潮流も生まれつつあります。

人口減少下にあっても、中山間地域にお住いの皆様が安心して、心豊かに、笑顔で暮らせる中山間地域を目指していくことに変わりはありません。

このため、今回の計画では、これまでの取組の成果を踏まえつつ、新たな潮流の中でこれからの5年間で、中山間地域を次世代に託すための力強い土台を築く期間と捉え、デジタル技術を最大限に活用したスマートな里山づくりを進めていくことによって、持続可能な中山間地域の実現につなげてまいりたいと考えております。

この計画を皆様と共有し、地域資源を強みとして積極的に生かしながら、中山間地域に愛着と誇りを持つ皆様の多様な力を結集することによって、目指す姿の実現を目指してまいります。

令和3年1月

広島県知事

湯崎英彦